

私達があなた様の屋根の改修工事を行います。

弊社の職人さんのノウハウ、こだわり を紹介します。



神原 徹也

(株) エルフォルクの役員 愛知県春日井市出身

改修の際、既設スレートの破損箇所を先ず補修をして

から施工に入ります。作業者全員に徹底しています。

安全に効率よく、笑顔で工事をとりすすめることが第1と考えています。



近藤 竜介さん

職長 神戸市兵庫区出身

全ての外部ビスはSUSであり、屋根ビスに関しては2重

パッキンで雨漏れ無し。これは弊社だけです。

端部役物、強風台風でも飛散することの無いように、

補強金物を使用しており、又谷樋は既設谷樋よりも

最大限大きくし、水の受ける容量を増やしております。参考図別紙 参照



川越 学 さん

兵庫県出身

谷樋取り付け時は、既設谷樋上に新しく下地材で勾配を

取り、既設谷樋に穴を開けず、水はけの良い新設谷樋を

取り付ける様に心がける。



兵庫県出身

我々は屋根の役物、各所ベンチレーターはかまの袴はかまなど自社で採寸

し、製作しています。いびつな場所、形状、状況に合わせた

役物も全て手作りで、お客様のご希望通りの製品を
提供しております。どんな難問でもおしやっして下さい。



永井 清隆さん

神戸市長田区出身
屋根改修後に大雨、台風、が来ても、谷樋、ケラバ、
棟包み、など、雨漏り、飛散がないよう自信と誇りを
持ってやっています。今一度言います。私はこの仕事に
誇りを持っています。



久保 真悟さん

広島市安芸区出身
チーム全員で力をあわせ、共栄共存協力して、お客様
と共に成長し繁栄し、感謝の気持ちを忘れずに歩んで行きた
いと思います。



香川 徹さん

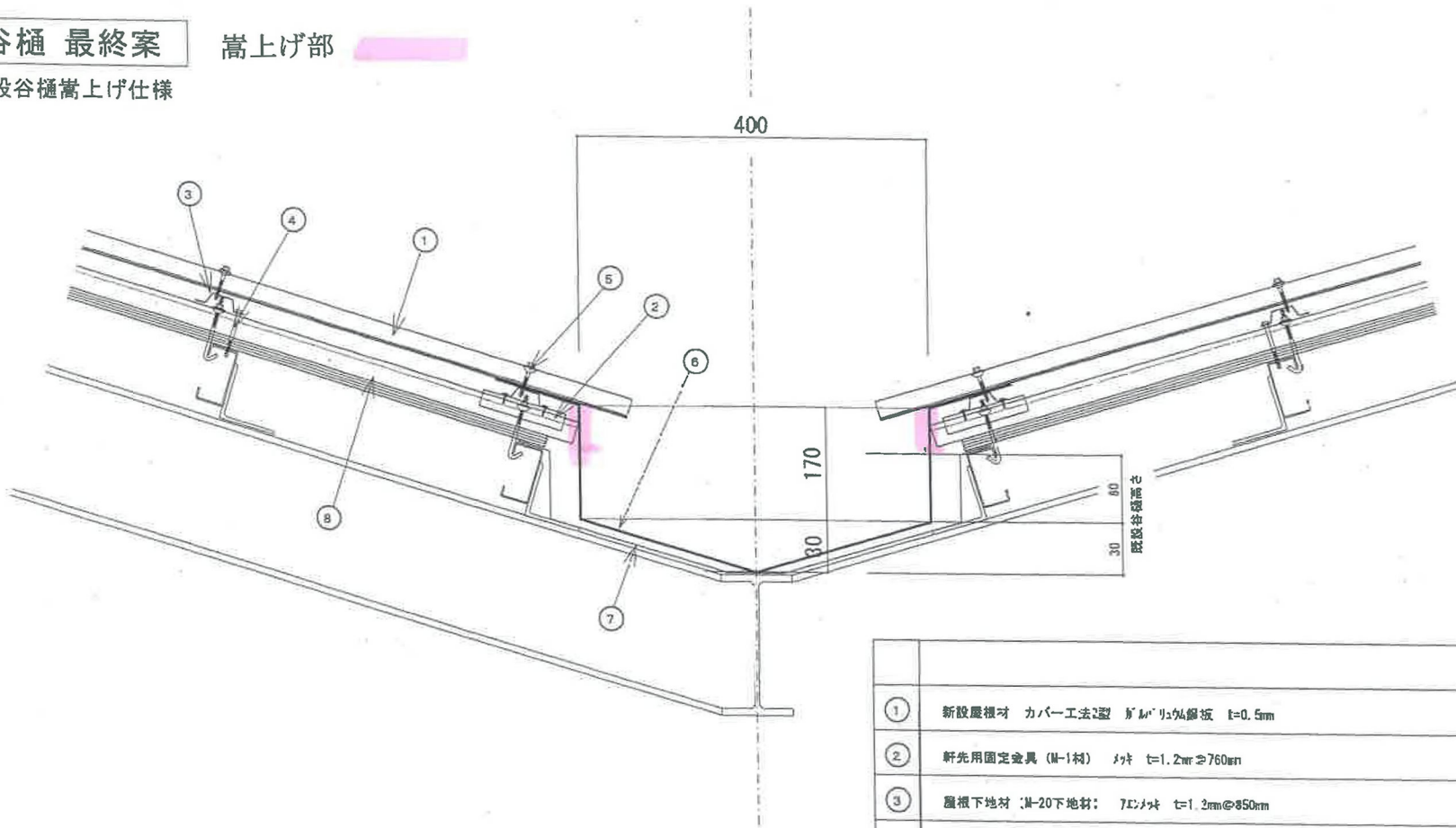
広島県安芸郡熊野出身
屋根を施工する上で本命である役物等の強度がかかる
ところを丁寧に綺麗に心込めて、且つお客様に喜んで頂け
る様に施工することを今後も、精励恪勤を心がけ
仕事を工夫して頑張りたいと念願しております。

※ せいれいかつじん 精励恪勤 = 熱心に仕事に励み怠らないさま。

谷樋 最終案

嵩上げ部

新設谷樋嵩上げ仕様



①	新設屋根材 カバー工法2型 厚1.2mm鋼板 t=0.5mm
②	軒先用固定金具 (M-1材) ノリ t=1.2mm ≧760mm
③	屋根下地材 (M-20下地材) 7Lノリ t=1.2mm ≧850mm
④	下地固定ビス HEX6×70 @750×350
⑤	ビス スコフ-EX6×65 @325×850mm
⑥	新設 谷樋寄込み 耐蝕被覆鋼板 t=0.5mm W=400 H=200
⑦	既設谷樋 W=450 H=170
⑧	既設屋根 鉄板ハゼ波76C巾 木毛板
⑨	
⑩	